

今後の市政経営・物価高対策の実行を



持続可能な市政経営に向けて

木島 新年度予算編成で市長が重視する点は。
市長 中長期的な視点に立った財政運営が必須。不断の行政改革等進める。一方で新たなニーズ等には市民の声など背景を踏まえ事業を行う。また老朽化等、喫緊課題には速やかに対応する。
木島 公共施設老朽化等では、複合化・多機能化で、縮小しつつも機能は充実させる「縮充」の視点が重要。今後の取組に生かして行くべき。
市 質の高いサービスを行うために進めたい。
木島 ここ数年、行政需要の拡大や物価高等によって予算規模も大きくなっている。基金残高のあり方等、新たな財政運営方針に見直すべき。

市 財政需要拡大や金利上昇など必要資金の増大を見据え、基金を積み増す方向で方針見直す。
物価高対策について（速やかな実行を）
木島 国からの重点支援地方交付金を積極的に活用し、市民及び市内事業者への支援を。
市 内容や迅速性など検討調整を進めていく。
木島 子ども食堂を運営する事業者等へ支援を。
市 経済的支援は様々整理して検討したい。
トイレ対策（女性用トイレ比率増など）
木島 災害時のトイレ計画が必要だ。
市 今後の関係計画改定に合わせて検討する。
木島 平常時から女性用トイレの比率を増やすために、市として明確な基準を持つべき。

公明党
木島 たかし



市 市長からも、女性トイレの適切な配置等、課題解決に向け指示が出ている。進めていく。
ことば・聴こえの支援拡充を
木島 ことば・聴こえの通級指導学級の設置に向けた検討状況は。
市 特別支援教育推進委員会からの報告を受け言語障害通級指導学級の設置に向け検討進める
障がい者に寄り添った駅周辺バリアフリー化を
視覚障がい者等のご要望を受け、国分寺駅周辺への音響型等バリアフリー型信号機や横断歩道のエスコートゾーン設置を求め質問しました。

ぶんバス～シルバーパス、東戸倉バス停



☆送迎保育ステーション設置を

星 希望者は必ず保育所に入ることができる保育枠を整え、若い世代の流入を更に促進すべき。同時に、駅前に施設を設け、そこから専用車両にて各保育所に送迎する「送迎保育ステーション」を設置すべき。自宅から離れている保育所であっても保護者は選択できるようになる。
市 コンパクトな市であるため、駅から遠い保育所でも定員は一定満たされている。効果は限定的であり、現在、導入の予定はない。
☆ぶんバス① シルバーパス導入を
星 シルバーパスを使えるようにすべき。
市 運賃収入が減少し、バス運行のための市補

助金が増加するため、運賃値上げを検討しなければなくなる。慎重に考える必要がある。
星 確かに、市のぶんバス補助金は増加する。一方で、ぶんバスを利用し、高齢者が元気に社会参加できれば、医療費や介護費用の抑制につながる。総合的な観点から考えてほしい。
☆ぶんバス② 東戸倉にバス停設置を
星 市役所に向かう「北野ルート」においてバス停を新設すべき。地域のみなさんの長年の要望である。本会議において3回連続で取り上げ、訴えているが、進捗状況の説明を。
市 府中街道の東戸倉一丁目付近に2026年1月5日に設置する予定で準備を進めている。

立憲・市民フォーラム
星 いつろう



☆「粗大ごみ減免申請」の場所を増やすべき

星 障害者手帳をお持ちの方、住民税非課税の75歳以上のみ世帯などに対して「粗大ごみ処理手数料」等を減免する制度がある。申請場所が市役所のみであるため、バスや電車代を考えると「利用を諦めざるを得ない」との実態にある。3か所ある「市民サービスコーナー」でも手続きを行えるように変えていただきたい。
市 課税情報など減免対象にあてはまるかどうかの確認、金券であること、手数料の確定を考えると、市役所で行うことが適切である。

子どもたちが思いを伝えられる環境づくりを



◆不登校支援Q.全校に設置されているサポート教室の特色ある取組はA.学習支援だけでなく、誰でも自由におしゃべりや読書などができる心の充電場所として毎日利用できるようにしていたり、ソファを置いてリラックスできる居場所となっている学校がある※全校への共有と、場所の確保や支援員の継続的配置など学校への支援強化をQ.連携協定を結んだ、日本財団とカタリバの実証事業「不登校支援ラボ」の進捗状況や今後の取組についてA.カタリバ職員が学校やトライルームなど周り、現状の支援の実態把握に努めている。今後フリースクールとの連携強化や教育支援センターの機能強化などの研究

を進めるQ.在籍級に通えない子どもをこれ以上増やさないためにも、子どもたちの声を聴き、通いやすい学校づくりに反映していくことが求められていると考える。教育長の見解をA.不登校の児童・生徒を増やさない取組だけではなく、学校に行きづらい状況でも自分に合った学びを選択し、社会的自立に向けて豊かに成長できるよう関係機関と連携し多様な支援を整えながら、全ての子どもたちが輝く教育の実現に向けて取り組んでいきたい◆子どもオンブズマンについてQ.子どもを取り巻く環境は自殺者数の増加に見られるように課題が複雑化し厳しさを増している。子ども自らが安心して助けを求められる

国分寺・生活者ネットワーク
小坂 まさ代



新たな仕組みが必要。国立市や小金井市のような子どもの権利擁護の第三者機関の設置をA.市では子どもが人権について学んだり、子どもの意見を聴く取組を実施。大人が子どもの声を聴く姿勢を持ち、言いやすい環境をつくることで、子どもが自分の考えを話してもいいと思う感情が醸成されると考える。子どもオンブズマンの設置は現在検討していない※設置により、重大な権利侵害の未然防止や事後対応の負担軽減につながると考える。今後検討を◆その他、虐待防止体制や中学校部活動地域移行について質問

市民の声を反映する丁寧な行政の対応を！



◆防犯活動・対策について。問) 児童・生徒の登下校見守り活動は。市) PTAや地域ボランティアの善意に支えられてきたが、担い手の高齢化や減少が課題。各学校を通じ、通学路点検やコミュニティ・スクール協議会等を活用し定期的に議題とし、協議の場の確保。防犯まちづくり委員の登下校時の見守り活動や引き続き関係団体としっかりと連携し、地域全体で子どもたちを見守る体制づくりを進める。問) 悪質訪問業者対策について。市) 今年度住まいの防犯用品購入費補助事業を実施。問) 警視庁の啓発ステッカー等の周知を。市) 警察と連携し、消費者見守りネットワークだよりへの掲載や広報を

行う。◆有機フッ素化合物 (PFAS) について。問) 市民の健康不安の声を紹介、医師会への働きかけについては。市) 市の対応等について説明をした。PFASの血液検査に係る意見等は受けていない。現状、血液検査予定はないため、医師会に対して意見交換や協議は求めない。問) 東京都への要望については。市) 東京都環境・公害事務連絡協議会を通じて、東京都への予算要望の際、要望や情報収集を継続している。◆旧庁舎用地複合公共施設について。問) 新規条例制定の考え方は。市) 開館時間や使用料、使用など統一した新しいルール、適切かつ混乱なく分かりやすい運用を行うため、新規条例を制

立憲・市民フォーラム
はせべ 豊子



定。新規条例は、関係法令との整合を図り検討を進める。問) 図書館ICT活用として、ICタグやBDS導入については。市) ICタグ活用は、市の図書館の利便性向上や図書管理の効率化、将来の図書館の在り方を見据え費用対効果も踏まえ、要否も含め検討を進める。要望) 人工芝のマイクロプラスチック課題への配慮などを伝え、丁寧な検討を求めた。他◆介護サービス相談員制度の課題や人材確保や活動環境改善◆居住支援協議会の在り方◆ぶんバスの高齢者支援策について、市民に寄り添った対応を求めた。

議会図書室のご案内

議会図書室は、地方自治法第100条第19項に基づき、議員の調査・研修に資するために設置されています。議会や行政に関する図書等を中心に収集しており、一般の方も利用することができます。ご利用の際は、事務局職員にお声がけください。
利用時間 平日の8:30～17:00
※一般の方の利用は閲覧と印刷のみで、貸し出しをすることはできませんのでご了承ください。

